



## 研究会の目的:

- ディスラプションの調査・研究、サプライチェーンの調査・研究などを通し、利用組織にとって、レジリエンシーが向上し、役に立つ事業継続規格・ガイドラインのあり方を提案する。

## 2009年度の目標:

- 代表的な規格・ガイドの内容趣旨を徹底的に、より深く理解し、規格・ガイドに関する専門性を高める
- B C A O内外組織と情報交流により、規格・ガイドに関する専門性を高める
- 規格・ガイドとディスラプション及びサプライチェーンの関係を調査・研究し、レジリエンシー向上に効果的な要素を抽出する



## 代表的な規格・ガイドの内容趣旨を徹底的に、 より深く理解し、規格・ガイドに関する専門性を高 める

・研究対象(案):ISO / PAS 22399:2007

・資料:各自で調達

原本PDFダウンロード 11,718円 (本体価格11,160円) 31ページ

原本冊子 11,718円 (本体価格11,160円) 31ページ

邦訳冊子 22,050円 (本体価格21,000円) 82ページ

<http://www.webstore.jsa.or.jp/webstore/Top/index.jsp?lang=jp>

# ・ISO / PASS 22399 内容深堀方法

(トライアル版:石川、今後の方法、目標深度、スケジュール、担当などをディスカス)



- ・日本語のみで31ページ、メンバー参加予測: 8名
- ・最初は輪読で全体像をつかむ
  - ・1回、2名、各30分、要点説明
  - ・担当: 5ページ前後 / 人
  - ・3回の研究会で終了
- ・6月研究会 研究方法の提案、検討、事例(まえがき、序文、4ページ:石川)
- ・7月研究会 全体像(1) Aさん:(適用範囲、引用規格、用語及び定義、7ページ)、  
Bさん:(一般、方針、4ページ)
- ・9月研究会 全体像(2) Cさん:(計画、6ページ)、  
Dさん:(実施及び運用、4ページ)
- ・11月研究会 全体像(3)、深堀方法の検討  
Eさん:(パフォーマンス評価、マネジメントレビュー、4ページ)、  
Fさん:(付属書、7ページ)
- ・1月研究会 要点分析(1)
- ・3月研究会 要点分析(2)、まとめと今後の方針検討
- ・その後、深堀方法をディスカス



## ・規格研究

### トライアル版事例

(まえがき、序文の部分、4ページ)

# まえがき



- ・国際規格の作成作業プロセスについての説明
- ・ISO / PAS (一般公開仕様書)の発行についての説明
- ・3年後の見直しについての説明
- ・リファレンス文書の説明
  - ・NFPA 1600:2004
  - ・BS 25999 - 1:2006
  - ・HB 221:2004
  - ・INS 24001:2007
- ・日本工業標準調査会研究作業

# 序文

- ・原則及び用語の定義
- ・組織と顧客・依頼人の取引に信用を提供

## ・ガイドラインの目的

- (1) 事業中断をもたらす脅威の理解
- (2) 事業中断の影響を定量化
- (3) 重要業務の決定
- (4) 必要なインフラやリソースの特定
- (5) 必要情報、手順などの文書化
- (6) 情報の適正更新プロセスの確立
- (7) 緊急事態準備、事業継続の実行
- (8) 継続的改善

・効果的なIPOCM(インシデント準備業務継続マネジメント)のためには、企業文化の根本的な変革が必要である。

・事業中断について組織のあらゆるレベルの人が理解する必要がある、又どのように対処するかを考える必要がある。

・IPOCMは、問題を解決する一連のツールを提供する。

・マネジメントモデルの共通要素を処理するための指針を提供する。

・組織のガバナンスに直接結びついており、良好な経営慣行を確立する。

・組織の災害対応能力を積極的に励行するための戦略的及び業務的な枠組みを提供する。

